



# 週間情報



No.0236(11月3日休刊)

発行日 令和2年10月27日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ 第一生命保険株式会社からの寄付

全国消防長会

全国消防長会では、令和2年10月22日(木)、令和2年7月豪雨に係る被災地の消防本部のために役立ててほしいとのことでご寄付をいただいた、第一生命保険株式会社に対し感謝状を贈呈しました。

寄付金は、被害の大きかった熊本県内の消防本部で有効活用してまいります。



【左から吉田事務総長、第一生命保険株式会社高橋常務執行役員】

### ◆ 法制・広報研修会を北海道苫小牧市(北海道支部)において開催

全国消防長会

全国消防長会では、令和2年10月15日(木)、北海道苫小牧市(ホテルウイングインターナショナル苫小牧)において、全国消防長会北海道支部の協力のもと、法制・広報研修会を開催しました。

当日は、37名の職員が参加し、消防本部内のリスク管理やコンプライアンスの充実を図るため、全国消防長会顧問弁護士である木下健治氏を講師に迎え、「消防関係判例100」を用いて警防、救急及び予防関係の判例解説を講義していただきました。

なお、研修会は新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、参加者数の制限、会場入口での検温、手指のアルコール消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保を行い開催しました。

研修会后、全国消防保険サービス株式会社の小室社長から、業務中の賠償リスクと保険についての説明も実施しました。



【研修会の様子】

## ◆ 令和2年度富山県下消防署「警防技術交換会」を開催

富山県消防長会

富山県消防長会では、令和2年10月13日(火)、富山県広域消防防災センターの訓練施設で、「警防技術交換会」を開催しました。この交換会は県下消防職員の災害対応能力及び警防技術の向上を図ることを目的に行い、当日は、県内8消防本部(局)、全26消防署の職員(129名)が参加しました。木造一般住宅及び鉄骨造共同住宅の延焼火災発生時、先着隊が迅速・的確・円滑な部隊活動ができるようブラインド型の火災防御訓練を実施しました。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、感染予防対策を講じて訓練を実施しました。



【警防技術交換会の様子】

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ 「災害時等の無人航空機支援協力に関する協定」を締結

豊中市消防局(大阪)

豊中市消防局では、令和2年10月1日(木)、地震等の大規模災害や、山火事等の大規模な火災の対応を迅速に行うため、民間企業との間に、「災害時等の無人航空機支援協力に関する協定」を締結しました。

協定締結企業の支援により、上空を飛行する無人航空機から災害の程度や範囲を撮影し、的確な状況把握と迅速な災害対応を行うことを目的に、この協定を結びました。

災害発生時以外でも、情報交換を行うとともに訓練に参加していただき、円滑な連携が図れるよう努めてまいります。



【協定締結後の記念撮影】



【ドローン操縦体験の様子】

## ◆ 寄附採納に係る消防本部公用車両お披露目式を開催

### 木更津市消防本部（千葉）

木更津市消防本部では、令和2年10月8日（木）、共栄海運株式会社様から当市の持続可能な行財政運営のため、公用車両2台の寄附を受け、お披露目式を開催しました。

寄附車両は「日産セレナ e-POWER」（令和2年6月30日（火）納車）、「日産キャラバン プレミアムGX」（令和2年10月6日（火）納車）で、当消防本部消防総務課及び予防課に配備し、主に事務連絡、立入検査、火災調査等に活用してまいります。



【平井代表取締役（左）から 渡辺市長（右）へ、レプリカキーを贈呈】



【日産セレナ e-POWER（左）、 日産キャラバン プレミアムGX（右）】

## 訓練・演習

### ◆ 令和2年度特殊災害対応訓練を実施

### 松戸市消防局（千葉）

松戸市消防局では、令和2年10月2日（金）、松戸運動公園で、松戸警察署、松戸東警察署、市立総合医療センター、千葉西総合病院、当市危機管理課と合同で、148名の参加を得て、特殊災害対応訓練を実施しました。当日は、野球場で開催されるグルメイベントの準備中にプロパンガスボンベが爆発し、多数の負傷者が発生したとの想定で訓練を実施しました。

爆発事故は、広範囲にわたり衝撃波が伝わり、多数の負傷者が発生するとともに、爆傷と呼ばれるさまざまな外傷を受けるため、医療機関と連携を図り、迅速な救護活動体制を整えなければなりません。

この訓練では、負傷者の迅速な搬送やトリアージなどを行ったほか、実際のスポーツ施設を使うことによって、広範囲にわたる被害状況の確認が必要であることを改めて学び、より実践的な活動を行うことができました。



【訓練の様子】

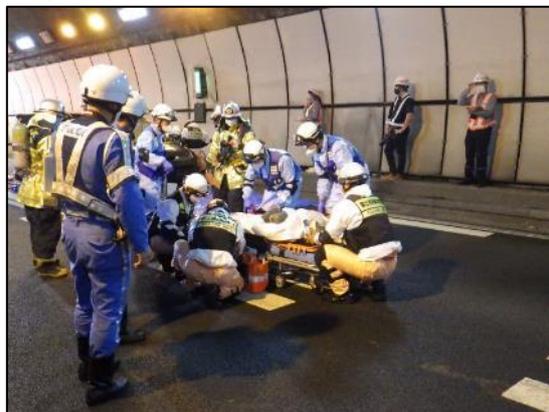
## ◆ 東名高速道路トンネル内総合防災訓練を実施

### 富士市消防本部（静岡）

富士市消防本部西消防署では、令和2年10月7日（水）、東名高速道路下り線の蒲原トンネルで、中日本高速道路株式会社、静岡県警察高速道路交通警察隊と合同で総合防災訓練を実施しました。

この訓練は、円滑な消防活動と関係機関との相互協力体制の強化を目的として昨年引き続き行ったものです。当日は、トンネル内で普通乗用車2台の交通事故が発生したとの想定で、要救助者の救出、消火訓練を実施しました。

今後も、関係機関と訓練を実施していくことにより、さらなる災害対応力を高めるとともに、市民への災害時の対応についても広報してまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 本職から真の技術を学ぶ ～「伐木」巧の技を消防職員へ～

### 座間市消防本部（神奈川）

座間市消防本部では、令和2年10月7日（水）、8日（木）の2日間、労働安全衛生規則の一部改正（平成31年2月14日公布）に伴い、伐木等訓練を実施しました。

講師として、特別教育を修了した当消防本部職員のほか、伐木等を本業とする本市消防団員を技術アドバイザーとして招き、専門的な技術指導を実施していただきました。

本訓練により、伐木作業等の業務に係る知識・技術・安全性の向上と、消防活動能力の強化を図ることができました。



【訓練の様子】

## ◆ 特殊環境下（ダム）での救助訓練を実施

### 小樽市消防本部（北海道）

小樽市消防本部では、令和2年10月6日（火）から9日（金）までの間、管内の朝里ダムで救助訓練を実施しました。

この訓練は、過去に同ダムで発生した救助事案を踏まえ、今後、同様の救助事案が発生した場合に備えて実施したものです。高低差のある狭い活動スペースや、周囲に強固な支持物等があまりない特殊環境下で、隊員間の連携を強化できたほか、低所からの救出要領の習得、救助技術・知識の向上を図ることができました。

今後も、災害現場対応能力の強化を目指し、実災害を想定した実践的な救助訓練を重ねてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 第6回初期消火訓練大会を実施

### 笠岡地区消防組合消防本部（岡山）

笠岡地区消防組合消防本部では、令和2年10月9日（金）、管内の防火対象物及び危険物事業所における火災予防の徹底と、防火思想の高揚、職場内の防火体制の確立を図っていただくことを目的に初期消火訓練大会を実施しました。

この大会は、危険物事業所の事務室から出火したとの想定で、「火災の発見」、「119番通報」、「初期消火」を二人一組で実施して、その技術を競い合い、規律性・安全性・確実性・協調性について審査を行うものです。

当日参加した各チームは、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し、会場からは選手たちに対して多くの拍手が送られました。



【大会の様子】

## ◆ トンネル内での災害を想定した合同机上訓練を実施

### 土浦市消防本部（茨城）

土浦市消防本部では、令和2年10月12日（月）、災害活動時の連携及び情報共有を主眼に、石岡市消防本部と合同机上訓練を実施しました。この訓練は当市と石岡市にまたがる朝日トンネル内における、車両の衝突事故による救助事案と車両火災事案の2想定を実施し、初動対応と両消防本部間の情報共有方法を再確認することができました。また、トンネル内では、デジタル無線が使用できなくなるため、アナログ無線や携帯電話、トンネル施設のケーブル等を使用し、どのツールが使用可能であるかを検証しました。

今後もトンネルなどの特殊な環境下での活動に備え、訓練を継続するとともに、関係機関との連携強化に努めてまいります。



【合同机上訓練の様子】

## ◆ 国際消防救助隊派遣携行資機材のメンテナンス会を実施

### 柏市消防局（千葉）

柏市消防局では、令和2年10月6日（火）、市内の大堀川防災レクリエーション公園で、国際消防救助隊に登録されている千葉県内の7消防本部が連携し、県内では初となる派遣携行資機材のメンテナンス会を開催しました。

被災国での活動時、資機材に不具合が生じた場合でも自らメンテナンスを行い、限られた資機材で最大限の能力を発揮できる活動技術と、メンテナンス技術の向上を目的に実施しました。当日は、独立行政法人国際協力機構「JICA」が主催するメンテナンス会経験者（5名）が指導員となり、40名の隊員が参加しました。

会場では4ブースを設けて、「ダイヤモンドチェーンソー」、「ダブルブレードカッター」、「電磁波人命探査装置」、「画像探査装置」の使用時の留意事項と、故障時のメンテナンスのポイントについて、確認と伝達を行いました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、制限のある実施方法となりましたが、今後も県内で協力し知識・技術を磨いてまいります。



【メンテナンス会の様子】

## 研修等

### ◆ 女性消防吏員活躍推進アドバイザー講演会を開催

#### 多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部では、令和2年10月9日（金）、総務省消防庁の女性消防吏員活躍推進アドバイザーである相模原市消防局職員の野口深雪様をお招きして、講演会を開催し、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底した中で、管理職員23名が受講しました。

講演では、「女性に対する配慮は必要だが、特別扱いする必要はない。1人の消防吏員として同じに扱ってほしい。」など、実体験に基づく生の声をお話していただき、女性消防吏員への理解を深めることができる有意義な講演会となりました。

今年度、当消防本部では初めての女性消防吏員を採用しました。これからも、女性消防吏員が働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。



【講演会の様子】

## その他

### ◆ 消防協力者に消防長表彰

#### 石巻地区広域行政事務組合消防本部（宮城）

石巻地区広域行政事務組合消防本部では、令和2年10月13日（火）、石巻市内で発生した車両火災で、火災を発見し、迅速な119番通報と適切な初期消火により被害を最小限に止めた3名に対し、消防長から感謝状を贈呈しました。この事案は、現場が住宅密集地にあり初期消火活動がなければ他の住宅等へ延焼していた可能性が高く、3名の連携による的確な行動は地域におけるコミュニティの手本となるものです。



【表彰式の様子】

◆ 消防協力者表彰を実施



【感謝状贈呈後の記念撮影】

可茂消防事務組合消防本部（岐阜）

可茂消防事務組合消防本部では、令和2年10月14日（水）、消防協力者表彰を行いました。

この事案は、令和2年8月8日（土）、加茂郡川辺町地内で発生した建物火災で、隣人の男性が初期消火を行い、火災による被害を最小限に抑えたものです。その功績を称え消防長より感謝状と記念品を贈呈しました。

◆ YouTubeを活用した広報を始めました。

さいたま市消防局（埼玉）

さいたま市消防局では、令和2年9月30日（水）、当市公式動画配信チャンネル（YouTube）を活用して「救急需要対策」や「応急手当普及啓発」の動画による広報を始めました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、救急フェア等のイベントが中止になり、市民への直接的な広報の実施が難しくなりました。このような中、救急車の適正利用への理解を得ることや、応急手当に興味を持ってもらうことを目的に、自宅でパソコンやスマートフォンから視聴してもらえるようにしました。動画の作成は、職員がすべて手作りしています。令和2年度内に合計6本の動画を配信する予定ですので、ぜひご覧ください。



こちらのQRコードから視聴できます。→



【救急需要対策 第1話 お父さんが発熱！？ 一家に一冊119救急ガイド】

◆ 「大分市防火パレード！みんなで火の用心！～秋季火災予防運動2020～」を配信  
大分市消防局（大分）

大分市消防局では、令和2年10月8日（木）、「大分市防火パレード！みんなで火の用心！～秋季火災予防運動2020～」を当市公式YouTubeチャンネルに配信しました。

これまで、秋季火災予防運動の取り組みとして、地域の防火を推進する団体である大分市少年婦人防火委員会と共に「防火パレード」を行っていましたが、今年度は、コロナ禍により感染防止を最優先に考え、各幼年消防クラブがそれぞれの幼稚園等でパレードを行う様子を撮影し、動画編集する形を取りました。

どのような社会状況下でも発生し得る火災に対し、今できる形での取り組みを行った結果、子どもたちの防火意識の醸成が図れました。また、子どもたちの元気いっぱいの「パレード」と、思いのこもった「防火メッセージ」は、動画を見る親世代や祖父母世代にも響くものとなりました。



【パレードの様子】



【動画はこちらから】

◆ 特別高度救助隊・特殊災害対応隊・山岳救助対応隊への腕章及び胸章の授与式を実施  
つくば市消防本部（茨城）

つくば市消防本部では、令和2年10月9日（金）、特別高度救助隊・特殊災害対応隊・山岳救助対応隊への腕章及び胸章授与式を実施しました。

これらの部隊は、都市型災害、化学物質漏えい、山岳事故など、市内で起こり得る特殊な災害に備えるため、平成31年4月に編成し、1年間の試験期間を経て、この度、正式に運用を開始しました。

各種高度資機材と技術を有効に活用し、人命救助という崇高な使命と、高い志を胸に市民の安全・安心を守ってまいります。



【授与式の様子】



【腕章・胸章】

## ◆ 横浜市鶴見消防団のPR動画を制作

### 横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局鶴見消防署では、令和2年10月9日（金）、当市鶴見消防団PR動画を市の動画サイトに公開しました。

今年度は、コロナ禍により大規模なイベントや地域の行事の中止が相次ぎ、イベント等を活用した団員募集活動ができない中、新たな団員募集のツールとして活用できるように、鶴見消防団が本動画の企画、制作を行いました。（タイトル：鶴見消防団ドキュメント2020）

内容は一人の団員に焦点を当てた約8分のドキュメントで、消防団に関心を持ってもらうとともに、地域防災活動に参加するきっかけとしていただくことがテーマとなっています。

多くの方々に視聴していただき、現在も視聴回数が伸びています。今後も、多くの皆様の視聴をお待ちしております。



【動画のひとコマ】



【動画はこちらから ↑】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 令和2年1月から同年6月までに発生した製品火災に関する調査結果について

（事務連絡、令和2年10月16日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

令和2年1月から同年6月までに発生した製品（自動車等、電気用品及び燃焼機器）の不具合により発生したと消防機関により判断された火災（以下「製品火災」という。）の調査結果を別添のとおり取りまとめましたので、送付いたします。（別添省略）

また、調査結果は消費者庁に通知するとともに、自動車等については国土交通省と、電気用品及び燃焼機器については経済産業省と連携を図り、製品に起因する火災の再発防止のために活用しています。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/201016\\_yobou.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/201016_yobou.pdf)) に掲載されています。

消防庁予防課 予防係

担当：吉田・宮田

電話 03-5253-7523

FAX 03-5253-7533

◆ 防災表示を付する者の登録に係る消防長への通知方法の変更について

(事務連絡、令和2年10月22日)

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

貴職におかれましては、平素から消防行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

標記の件について、消防法施行規則第4条の4第3項の規定に基づく、防災表示を付する者の登録に係る消防長への通知については、文書の郵送により行っているところですが、業務効率化等の観点から、今後、郵送ではなく、電子メールにより行うこととします。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/201022\\_yobou.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/201022_yobou.pdf)) に掲載されています。

(担当)

消防庁予防課 予防係

担当：吉田・宮田

電話 03-5253-7523

メール [bouen@soumu.go.jp](mailto:bouen@soumu.go.jp)

**報道発表**

◆ 令和元年(1～12月)における火災の状況(確定値)

(令和2年10月15日、消防庁)

令和元年中の火災の状況について、1月から12月までの確定値をとりまとめましたので、その概要を公表します。

直近10年を見ると総出火件数及び火災による死者\*数は減少傾向にあります。また、住宅火災による死者\*数も減少傾向にあるものの、65歳以上の高齢者の占める割合は増加傾向にあります。

\*放火自殺者等を除く。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/201015\\_boujyo\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/201015_boujyo_1.pdf)) に掲載されています。

**【担当】**

消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室 竹本 浅井 松本

予防課 栗原 吉田 西出 宮田

(代表) TEL 03-5253-5111/FAX 03-5253-7536

◆ 消防法施行規則の一部を改正する省令（案）等に対する意見公募

（令和2年10月16日、消防庁）

消防庁は、消防法施行規則の一部を改正する省令（案）等の内容について、令和2年10月19日から令和2年11月17日までの間、意見を公募します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/201014\\_yobo\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/201014_yobo_1.pdf)) に掲載されています。

（事務連絡先）

消防庁予防課 桑折課長補佐、五味

TEL 03-5253-7523（直通）

FAX 03-5253-7533

◆ 危険物の規制に関する規則等の一部を改正する省令（案）に対する意見公募

（令和2年10月16日、消防庁）

消防庁は、危険物の規制に関する規則等の一部を改正する省令（案）の内容について、令和2年10月19日から11月17日までの間、意見を公募します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/201014\\_kiho.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/201014_kiho.pdf)) に掲載されています。

（連絡先）

消防庁危険物保安室 勝本、竹中

TEL 03-5253-7524（直通）

FAX 03-5253-7534

◆ 令和2年9月の熱中症による救急搬送状況

（令和2年10月22日、消防庁）

熱中症による救急搬送人員について、令和2年9月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/neccyuusyou.pdf>) に掲載されています。

（連絡先）

消防庁救急企画室

担当：増田、吉岡

電話：03-5253-7529

FAX：03-5253-7532

## 情報提供

### ◆ 「令和2年度 防災啓発中央研修会」のお知らせ

#### 一般財団法人消防防災科学センター

一般財団法人消防防災科学センターでは、防災啓発中央研修会の受講者を募集いたします。

#### ・目的

社会、経済環境の多様化に伴う災害の要因の複雑化、被害増大の傾向に対応し、消防防災関係者等に対して広く防災に関する知識の普及に努め、地域の防災力の向上を図ること。

- ・開催日時 2020年11月19日(木)、11月20日(金) 午前10時～午後3時40分
- ・開催場所 ニッショーホール(旧ヤクルトホール)  
東京都港区東新橋1丁目1番地
- ・受講対象者 都道府県、市町村及び消防本部等の職員並びに一般住民(定員250名)
- ・受講料 無料
- ・申込方法 消防防災科学センターの市町村防災研修ホームページ「中央研修会のご案内」よりお申込みください。  
[http://www.bousai-kensyu.com/chuo\\_oubo/](http://www.bousai-kensyu.com/chuo_oubo/)
- ・申込期限 11月18日まで(各日 定員になりましたら申込み終了となります)  
申込が完了しますと、登録されたメールアドレスに「QRコード」が送信されます。  
申し込みは、どちらか1日でも、両日でも可能です。

#### ・プログラム

11月19日(木)

10:10～11:30 大規模災害に備えた消防防災体制の拡充・強化(仮題)  
荻澤 滋(総務省消防庁国民保護・防災部長)

12:30～14:00 気候変動予測と災害環境への影響(仮題)  
中村 尚(東京大学 先端科学技術研究センター教授)

14:10～15:40 これからの日本人の災害への向きあい方(仮題)  
室崎 益輝(兵庫県立大学大学院・減災復興政策研究科長・教授)

11月20日(金)

10:00～11:30 豪雨災害を経験して(仮題)  
新原 芳明(広島県呉市長)

12:30～14:00 30年7月豪雨災害を踏まえた今後の取り組み(仮題)  
磯打 千雅子(香川大学地域強靱化研究センター特命准教授)

14:10～15:40 今後の公助の在り方(仮題)  
鍵屋 一(跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授)

※ ご参加される方はマスクの着用をお願いいたします(マスクは各自で準備してください)。

受付で検温を行います。入口に置いてあるアルコールで手指の消毒を行ってから受付をお願いします。

問い合わせ先

(一財) 消防防災科学センター  
研究開発部 田村・渡辺  
TEL: 0422-24-7803

## ◆ 住宅用火災警報器の販売について

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会の指定店登録事業者であるホーチキ株式会社では、当協会会員（消防職員）向けに、市場価格より割安な価格にて、住宅用火災警報器の販売を行っています。

既に多くの方にご購入いただいておりますが、秋の火災予防運動期間に合わせて、さらに皆様にご活用いただくため、商品や申込方法等のご案内を令和2年10月28日（水）に、改めて各本部宛にメールで送付いたします。

ぜひこの機会に本斡旋をご利用ください。



### 斡旋商品

商品名	斡旋価格（税別）
音声タイプ（単独型）	2,500円
無線タイプ（無線連動型）	6,800円

#### 【問い合わせ先】

業務課

担当：河野、石井健一

電話：03-3234-1321

## ◆ 葬儀支援サービスのご案内

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会の指定店登録事業者である株式会社全国儀式サービスでは、会員（消防職員）向けに葬儀支援サービスを提供しています。

本サービスは、万一の際に、電話1本で全国の加盟葬儀社の紹介を受けられ、全国共通の葬儀の基本セットを低価格でご利用できる内容となっており、葬儀に関するお問い合わせや事前相談も受け付けております。

サービス内容やお問い合わせ方法等の詳細につきましては、10月号のほのお・会報便にご案内チラシを同梱いたしますので、ぜひご覧ください。

#### 【問い合わせ先】

業務課

担当：河野、石井健一

電話：03-3234-1321

## ◆ カシオ製防水・防塵電卓の特別販売のご案内

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会の指定店登録事業者であるカシオマーケティングアドバンス株式会社では、令和2年11月30日（月）までの期間限定で、会員（消防職員）特別価格にて防水・防塵電卓の販売を行います。

キーパッドを簡単に外して洗うことができ、水回りでもほこりの多い場所でも安心して使える電卓ですので、ぜひこの機会に特別販売サイトをご覧ください。

なお、特別販売サイトのご案内につきましては、令和2年10月28日（水）に各本部宛にメールにて送付いたします。



### 【問い合わせ先】

業務課

担当：<sup>かわの</sup>河野、石井健一

電話：03-3234-1321

## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

### ①トップ・セカンド記事

### ②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

### ③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報No.0117又は機関誌「ほのお」2019年4号（4/25発刊）33ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 田島

原稿データは、[kikakeikaku@fcj.gr.jp](mailto:kikakeikaku@fcj.gr.jp)に送信願います。

### ④消防ワイド

- ・文章は、Wordで150文字程度（160文字以内）で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：情報管理課 田中

原稿データは、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

### 記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）に近い時期のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 菅原

原稿データは、[weekly@fcj.gr.jp](mailto:weekly@fcj.gr.jp)に送信願います。